6. Search Replace DBで移行元のURLを移行先のURLに書き換える

以下のサイトを参考に、Search Replace DBのファイルをダウンロードし、移行先のサーバーにアップロードします。

▼参考

https://www.webdesignleaves.com/pr/wp/wp_search_replace_db.html

上記参考サイトにも書かれていますが、このファイルを置く場所は、wp-contentなどがある場所と同階層です。



設置できたら、ブラウザでURLを叩き、Search-Replace-DBにアクセスします。

例) http://ドメイン名/Search-Replace-DB-master/

すると、以下のような画面になります。各項目については以降で説明します。



interconnect/it

SAFE SEARCH AND REPLACE ON DATABASE WITH SERIALIZED DATA V3.1.0

This developer/sysadmin tool carries out search/replace functions on MySQL DBs and can handle serialised PHP Arrays and Objects

① search/replace

search /replace	replace search for 移行元	with replace with… 移行先	use regex
search/replaceの「replace」には	、移行元(検索・置換の対象)の URL	(またはその一 部) を入力し、「 <mark>with」には</mark>	<mark>よ移行先の URL(またはその一部)を入力</mark> します
例えば、「https:// fuga.jp 」を「ht 「replace」には「 fuga.jp 」を、	ttps:// fuga.jp/hogehoge 」に置換した 「with」には「 fuga.jp/hogehoge 」を指	い場合は、 皆定します。 (最後に/を付けない 、	ことに注意)
※ ※			

何を検索・置換対象とするかや**プロトコル部分も含めるか** などはサイトの環境に応じて決定する必要があるかと思います。

例えば、単に example.com を example.localhost に置換する場合、E-mail アドレス info@example.com は info@example.localhost に置換されるので必要に応じて置換対 象に**プロトコル部分(http:// や https://)**を含めるか、置換後に修正するなどが必要になります。 ・・・phpMyAdminから直接編集すればOKです

Odatabase

```
「database」の部分はデータベースから自動的に取得してきてくれます。
```

※Search Replace DBのバージョンによっては、自動的に取得しないので、wp-config.phpを参照しながら自分で入力します おそらく「test connection」というボタンがあると思うので、それを押し、DBと接続できればOKです

③tables

「tables」の部分はデフォルトでは全てのテーブルを対象とする「all tables」が選択されています。 テーブルを限定する場合は「select tables」を選択して指定します。

下の例の場合、wp1_とwp_が混ざっています。 <mark>今回変更したいのは、wp_のテーブルなので、これだけを選択します</mark>。

tables	⊖ all tables ● select tables				
この例の場合は、 wp1_が混ざっている。 これは置換したくないので 選択を外す	wp1_ewwwio_queue: InnoDB, rows: 0, size: 16.38kb, collation: utf8_general_ci, characte	er_set: utf8			
	wp_ewwwio_queue: InnoDB, rows: 0, size: 16.38kb, collation: utf8_general_ci, character_set: utf8				
	wp1_commentmeta: InnoDB, rows: 0, size: 16.38kb, collation: utf8mb4_unicode_520_ci, character_set: utf8mb4				
	wp1_comments: InnoDB, rows: 0, size: 16.38kb, collation: utf8mb4_unicode_520_ci, character_set: utf8mb4				
	<pre>wp1_ewwwio_images: InnoDB, rows: 0, size: 16.38kb, collation: utf8mb4_unicode_520_ci, character_set: utf8mb4</pre>				
	<pre>wp1_links: InnoDB, rows: 0, size: 16.38kb, collation: utf8mb4_unicode_520_ci, character_set: utf8mb4</pre>				
	<pre>wp1_options: InnoDB, rows: 344, size: 1.13Mb, collation: utf8mb4_unicode_520_ci, character_set: utf8mb4</pre>				
	<pre>wp1_postmeta: InnoDB, rows: 11778, size: 2.64Mb, collation: utf8mb4_unicode_520_ci, character_set: utf8mb4</pre>				
	wp1 posts: InnoDB. rows: 534. size: 180.22kb. collation: utf8mb4 unicode 520 ci. character set: utf8mb4				
	columns to exclude (optional, comma separated)	columns to include only (optional, comma separated)			
	eg. guid	eg. post_content, post_excerpt			

(actions

actions にあるボタン「dry run」や「live run」を使って置換のシミュレーションや、実際に置換を実行します。

dry run

「dry run」では、**実際の書き換え(置換)は行われず、どのように置換されるかを確認(シミュレーション)することができる**ので、置換を実行する前に確認します。

▼dry run を実行した後の様子

actions	The dry-run option was selected. No replace	ments will be made.					
	update details dry run live run /	convert to innodb	convert to utf8 unicode convert to utf8mb	4 unicode			
the process of searching f	or "funain" (to be replaced by "funa in/homehome) we scanned 21 tables w	th a total of 17688 rows. 4273 cells would have be	een changed. 0 db updates were	performed. It all took 13.2440004 •	seconds.	
Table		Rows	Cells changed	Upo	ates Seco	onds	
wp_ewwwio_queue		0	0	0	0.783	30000	
wp commentmeta		0	0	0	0.813	39999	
wp comments		0		0	0.576	50000	
wp ewwwio images	○の」」、て2部4月 とこ、ゴルズ里格されて	0	とりあえずwn ontionsを確	認しておく。	0.55	99999	
wp links	③のtablesで選択したテーブルが直換される	0			0.475	59998	
wp options	誤って別のテーブルまで置換しないように注意	313	5 view changes	0	0.549	90000	
wp postmeta		12914	0	0	1.13	39998	
wp_posts		1320	349 view changes	0	1.11	00001	
wp_poses		0	0	0	0.510	0000	
wp_strust_un_intages		126	0	0	0.510	00000	
wp_term_terenomy		120	0	0	0.48	30000	
wp_term_taxonomy		0	0	0	0.10	20002	
wp_terms		U 14	0	0	0.57	40002	
ttps://(fuga.jp)	OPTION_VALUE			https:// fug	a.jp/hogehoge a.jp/hogehoge		*
ROW 121, COLUM	N `OPTION_VALUE`			n 7			
ROW 176, COLUM	N `OPTION_VALUE` ar /			https:// fue	a.jp/hogehoge / bar	/	
ROW 274, COLUM	N `OPTION_VALUE`			e 0			
				置換後			

live run

「dry run」で置換される内容を確認し、問題なければ「live run」をクリックして置換を実行します。

以下のようなアラートが表示されるので確認します。

翻訳:「本当に置換の実行の準備は整っていますか? データベースのバックアップを取ってください!」



問題がなければ「OK」をクリックすると置換が開始されます。

update details	dry run 🔇 live run	stop /
convert to innodb	convert to utf8 unicode	convert to ut/8mb4 unicode

5 delete

delete	delete me	Once you're done click the delete me button to secure your server

しばらくすると置換が終了します。置換が正しく実行され、.htaccess や wp-config.php に問題がなければ、移行先のサイトの URL にアクセスして サイトが表示されるはずです。

サイトにアクセスし、特に問題が生じていなければこのファイルをサーバーから削除しましょう。

「delete me」より削除を行った後、念のため本当に削除されたかURLを叩くなどして確認しましょう。

※このスクリプトがサーバー上に残っていると、「http://ドメイン名/Search-Replace-DB-master/」にアクセ スすれば誰でもデータベースの書き換えができてしまうため大変危険です。必ず削除してください

これにて移行作業は終了です。 お疲れ様でした。

番外編では、SSH接続しか許さないAWSに移行する際の注意点をご紹介します。